

令和2-3年度繰越分 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及び効果検証

実施計画No.	事業名	所管課	計画申請時の事業概要 (①目的・効果、②交付金を充当する経費内容、③積算根拠(対象数、単価等)、④事業の対象(交付対象者、対象施設等))	R2→R3繰越の有無	事業始期	事業終期	充当対象事業費 決算額(円)	成果 (定量評価)	効果検証
14	3密対策事業者支援事業	観光・CP課	①- ②- ③新しい生活様式に対応し、衝立、フェースシールド、レジ前ビニールシート等の設置、換気扇の増設、飲食スペースの改修等を行う1事業者あたり補助率1/2、上限30万円 30万円×1,833事業者、事務委託料5千万円 ・パーテーションを設置する飲食店に対し、補助率1/2、上限20万円 20万円×1,000事業者 ④接客や密集、密接、密閉が高い業種で市内で別に定める事業を運営する中小企業及び個人事業主	R2→R3繰越分	R3.4.1	R4.1.5	60,814,791	・交付件数:348件 (交付金額:42,970,573円)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、感染防止対策を実施する市内の事業者を支援できた。
22	新しい生活様式支援天竜材活用事業	林業振興課	①- ②- ③天竜材(FSC認証材)を使用した間仕切り等、3密回避の設備を購入する1事業者あたり補助率2/3、上限500千円を助成 100千円×250事業者 ④市内の事業所に3密回避設備となる木製什器を導入する事業者	R2→R3繰越分	R3.4.1	R3.9.30	5,558,000	申請数:32件 交付決定金額:5,558千円 導入された木製什器:201基	新型コロナウイルス感染症の影響で、木材の主な需要先である建築物の着工が落ち込み中、新しい生活様式に則した木製什器の購入を支援することにより、天竜材の新たな需要の創出に繋がった。
27	光ファイバ整備支援事業	情報システム課	①情報通信基盤を整備する民間事業者に対する負担金の交付 ②施設整備費(補助対象外分)及び施設運用経費 ③総事業費2,078,666千円(民間事業者が支出) うち施設整備費(補助対象外分)134,941千円、施設運用経費679,159千円 施設整備費のうち市負担額119,456千円、事業者負担額(利用料金収入)15,485千円 施設運用経費のうち市負担額137,500千円、事業者負担額(利用料金収入)541,659千円 ④西日本電信電話株式会社、中部テレコムコミュニケーション株式会社	R2→R3繰越分	R3.3.1	R4.3.30	199,056,295	光ファイバ整備率の向上 北区:97.51%→99.5% 天竜区:51.17%→97.9%	民間事業者へ国庫補助対象外分の施設整備費と施設運用経費の一部を補助することにより、不採算地域への光ファイバ整備が進み、在宅勤務・オンライン診療等のための情報通信環境を整備し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与した。
42	天竜トライアルオフィスお試しツアー事業	スタートアップ推進課	①地方移住のニーズを捉えた市外ベンチャー企業の誘致による地域経済の活性化 ②中山間地域でのテレワークやアクティビティの体験ツアー開催業務委託費 ③宿泊費、アクティビティ費、食費、交通費、動画制作費、コーディネート費、広告費 委託料1,000千円 ④天竜トライアルオフィス運営者 山の舎	R2→R3繰越分	R2.11.24	R4.3.15	1,000,000	・ツアー参加者:9名 ・動画総再生数:268回 (R4.8.16時点)	首都圏のワーカー9名を対象に中山間地域でのテレワークやアクティビティの体験ツアーを実施した。 本事業への参加者のSNS投稿などを通して、本市のリモートワーク環境や地域リソース等について、首都圏を中心とした市外のワーカーに広く周知することが出来た。 また、本事業にて制作したPR動画を首都圏でのスタートアップ企業誘致におけるPR商材として活用している。
43	ベンチャー企業等誘致プロモーション事業	スタートアップ推進課	①地方移住のニーズを捉えた市外ベンチャー企業の誘致による地域経済の活性化 ②市外ベンチャー企業に本市の魅力伝える動画の制作 ③「浜松=ベンチャーフレンドリーな街」というイメージ醸成に寄与するコンテンツの制作及びプロモーション 委託料24,767千円 ④事業者は公募により選定	R2→R3繰越分	R2.10.19	R3.6.30	24,767,000	・動画再生数653,343回 (公開から1カ月間) ・市HP(HAMACT!)への誘導数5,252件	動画視聴回数:653,343回 広告表示回数:3,178,894回 視聴者の特性:20代~40代の男性 本動画は中日新聞(WEB版)やオリコンニュースを含め45メディアで掲載された。 市HP(HAMACT!)への誘導数5,252件 従来の自治体PR動画とは趣向を変えた内容であったことから、視聴者の反応はポジティブなものが多く、浜松市=ベンチャーフレンドリーな街としての認知度が向上に貢献した。
51	子供のこころの健康観察事業	指導課	①ICTを活用し、長期間の臨時休業が子供のメンタルヘルスに与えた影響を明らかにする ②市立小中学校の児童生徒に対するWebアンケート調査業務委託費 ③事業内容 ・アンケート調査及び分析 1,200円/学級×2,430学級=2,900千円 ・教師に対する研修 300千円 ・実施回数2回 計3,200千円×2回×1.1=7,040千円 ④市立小中学校の児童生徒 約63,000人	R2→R3繰越分	R3.4.1	R4.2.28	3,498,000	・調査結果を基に、学校が保護者と支援を目的とした面談を実施した。(小学校30%、中学校31%) ・調査結果を基に、児童生徒の個別面談を実施した。(小学校62%、中学校70%)	・児童生徒の情報を基に、児童生徒の支援を学校と家庭で共同で考えることができた。良い機会となった。 ・児童生徒の理解の一翼を担った。

実施計画No.	事業名	所管課	計画申請時の事業概要 (①目的・効果、②交付金を充当する経費内容、③積算根拠(対象数、単価等)、④事業の対象(交付対象者、対象施設等))	R2→R3繰越の有無	事業始期	事業終期	充当対象事業費 決算額(円)	成果 (定量評価)	効果検証
67	無線システム普及支援事業費等補助金	情報システム課	(高度無線環境整備推進事業) ①情報通信基盤を整備する民間事業者に対する負担金の交付 ②施設整備費(補助対象分)及び施設運用経費 ③総事業費2,078,666千円(民間事業者が支出) うち施設整備費(補助対象分)1,244,100千円 施設整備費のうち市負担額867,100千円 ④西日本電信電話株式会社	R2→R3繰越分	R3.3.1	R4.3.30	1,285,172,758	光ファイバ整備率の向上 北区:97.51%→99.5% 天竜区:51.17%→97.9%	民間事業者へ国庫補助対象外分の施設整備費と施設運用経費の一部を補助することにより、不採算地域への光ファイバ整備が進み、在宅勤務・オンライン診療等のための情報通信環境を整備し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与した。
68	無線システム普及支援事業費等補助金	情報システム課	(高度無線環境整備推進事業) ①情報通信基盤を整備する民間事業者に対する負担金の交付 ②施設整備費(補助対象分)及び施設運用経費 ③総事業費2,078,666千円(民間事業者が支出) うち施設整備費(補助対象分)20,467千円 施設整備費のうち市負担額14,265千円 ④中部テレコミュニケーション株式会社	R2→R3繰越分	R3.3.1	R4.3.30	48,142,366	光ファイバ整備率の向上 北区:97.51%→99.5% 天竜区:51.17%→97.9%	民間事業者へ国庫補助対象外分の施設整備費と施設運用経費の一部を補助することにより、不採算地域への光ファイバ整備が進み、在宅勤務・オンライン診療等のための情報通信環境を整備し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与した。
69	学校施設環境改善交付金	教育施設課	(衛生環境の改善等) ①西部中学校校舎の改築に伴い、既存給食施設を解体し、給食施設をドライシステムにより改築し整備する。 ②既存給食室の解体及びドライシステムによる改築に係る経費 ③改築工事費 9㎡×259,200円=2,333千円 付帯設備(給食備品等)工事費 5,905千円 ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3.6.1	R4.3.31	8,238,000	ドライシステムの整備:9㎡	改築校舎の給食室にドライシステムを導入することで、細菌の繁殖を防止し、衛生環境の向上を図ることができた。
70	学校施設環境改善交付金	教育施設課	(衛生環境の改善等(給食室の新増築)) ①西部中学校校舎の改築に伴い、アレルギー対応スペースを新築し整備する。 ②給食室内へのアレルギー対応スペースの新築に係る経費 ③改築工事費 4㎡×259,200円=1,037千円 付帯設備(給食備品等)工事費 2,494千円 ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3.6.1	R4.3.31	3,531,000	アレルギー対応スペースの整備:4㎡	改築校舎の給食室にアレルギースペースを設置することで、安心・安全な給食を提供することができた。
80	認証店舗キャッシュバック事業	観光・CP課	①市内飲食業界への経済支援及び需要喚起 ②3密対策を実施している認証店舗利用者のうち抽選で飲食代を助成、または特産品カタログを贈呈する ③・飲食代 1日あたり200人、上限5万円の飲食代を全額キャッシュバック、3月1億円、4月1億円(計2億円) ・飲食代の抽選に漏れた人に特産品カタログを贈呈(4月のみ) 5,500円×1,000組=5,500千円 ・事務委託料 6,500千円 ④市が認定する飲食店舗等の利用者	R2→R3繰越分	R3.4.1	R3.8.5	38,186,744	経済効果(応募額):548,100千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店舗に対するキャンペーンを実施することで、市民の来店需要を喚起することができた。
81	電子決済サービス事業者と連携した中小店舗支援事業	観光・CP課	①電子決済サービス利用者に対するポイント還元を通じた店舗支援 ②1回1千円、1か月1万円を上限としたポイントバック経費 ③ポイントバック原資 1千円×99万回、事務手数料10,000千円(内訳はプロポーザルで選定される事業者による) ④電子決済サービスを導入している中小店舗の利用者	R2→R3繰越分	R3.11.1	R4.3.31	700,557,675	・対象店舗の決済額:約39億3,600万円 ・ポイント付与額:約8億83,000万円	新型コロナウイルス感染症の影響によって落ち込んだ消費が喚起され、地域経済活性化につながった。
82	マイクロリズム推進支援事業	観光・CP課	①市内の旅行需要を段階的に回復させる ②市民を対象とした旅行商品の造成に対する助成 ③宿泊を伴う市内旅行 5千円/泊×20,000人=100,000千円 対象期間 令和3年3月から6月 ④一般社団法人 静岡県旅行業協会浜松支部	R2→R3繰越分	R3.3.8	R3.10.13	30,594,926	宿泊 11,498件 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5/21まで)	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少となった観光施設及び宿泊施設の支援に繋がった。
83	さきめしチケット飲食店等支援事業	産業振興課	①飲食店の手元資金確保による支援 ②3密対策を実施している認証店舗における飲食代の先払いチケットの販売及び抽選によるカタログギフトの贈呈 ③HP作成、コールセンター設置委託 30,000千円 プレミアム額(25%) 1,000店×100千円=100,000千円 特産品カタログ 1,000店×6千円=6,000千円 手数料経費 販売総額 500,000千円×10%=50,000千円 ④先払いチケット購入者、地方公共団体	R2→R3繰越分	R3.4.1	R3.12.31	0		

実施計画 No.	事業名	所管課	計画申請時の事業概要 (①目的・効果、②交付金を充当する経費内容、③積算根拠(対象数、単価等)、④事業の対象(交付対象者、対象施設等))	R2→R3繰越の有無	事業始期	事業終期	充当対象事業費 決算額(円)	成果 (定量評価)	効果検証
84	市内産花き活用事業	農業水産課	①花き生産者の支援 ②市内産花き購入に対する助成及び公共施設等における花の展示 ③・花き購入助成 割引額1千円×10,000回=10,000千円 割引支援及びPR業務委託 3,150千円 ・公共施設等における展示 小中学校 約102円(1本)×76,960本=7,850千円 公共施設 5千円×12か月×100か所=6,000千円 ④花き購入者、地方公共団体	R2→R3繰越分	R3.4.8	R4.3.30	21,568,331	市内産花き割引券使用枚数 7,611枚、浜松市立小中学校146校を対象に全学校合計スプレッド41,220本、ティスパット4,580本を配布、市内産花き展示実施公共施設数 117か所	市内産花き購入に対する助成及び公共施設等における花き展示を行うことで、花き生産者を支援するとともに、市内産花きを知っていただき、需要の喚起を図ることができた。
86	保育対策事業費補助金	幼児教育・保育課	①保育所における感染防止対策 ②市立保育所の園務員(会計年度任用職員)人件費及び市立、私立保育所等の感染拡大防止対策物品の購入 ③園務員 250千円×20施設=5,000千円 市立保育所 250千円×20施設=5,000千円 私立保育所等 300千円×108施設=32,400千円 400千円×47施設=18,800千円 500千円×121施設=60,500千円 ④市立保育所20施設及び私立保育所等276施設	R2→R3繰越分	R3.4.1	R4.3.18	28,481,991	・市立保育所園務員を全園(20園)に配置消毒液214本等を購入 ・私立保育所等補助金交付件数40件	施設内での消毒や衛生用品の整備により、保育所等における感染拡大防止に寄与した。
87	母子保健衛生費補助金	健康増進課	(新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦総合対策事業) ①妊婦に対する分娩前PCR検査の助成 ②検査を希望する妊婦のPCR検査費用 ③助成額2万円×妊婦42人=84万円 ④市内在住の妊婦(里帰りして市外実施した妊婦を含む)	R2→R3繰越分	R3.2.1	R4.3.31	217,340	・唾液によるPCR検査実施者(市実施) 52名 ・市外医療機関検査者(償還払対応) 13名	PCR検査を希望する妊婦に対して助成を実施できた。
88	子育て支援対策臨時特例交付金	健康増進課	(不妊に悩む方への特定治療支援事業) ①不妊に悩む夫婦に対する助成 ②特定不妊治療にかかる治療費 ③不妊治療助成額 1回30万円×875人回=262,500千円 安価治療助成額 1回10万円×412人回=41,200千円 その他郵便料等 866千円 ④婚姻している夫婦(事実婚含む)	R2→R3繰越分	R3.4.1	R4.3.31	277,663,750	・特定不妊治療助成金申請件数 1,122件	R3.1月からの制度拡充により申請件数が大幅に増加した。
89	学校保健特別対策事業費補助金	教育施設課、市立高校	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①公立小・中学校、高校における学校活動の継続 ②感染症対策及び学習保障等に必要な経費を児童生徒数に応じて配当 ③1~300人:小29校、中17校、各800千円 301~500人:小26校、中13校、各1,200千円 501人以上:小42校、中19校、各1,600千円 701人以上:高1校、2,400千円 ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3.4.1	R4.3.31	193,718,189	【教育施設課】 感染症対策を講じながら学校活動を継続するために必要な消耗品(消毒液、体温計、机椅子ほか)や備品(サーマルカメラ、サーキュレーター、ホワイトボードほか)の購入等を行った。 ・補助事業に要した経費(R2→R3繰越分) 177,505,180円 ・補助金確定額 89,527,000円 【市立高校】 感染症対策を講じながら学校活動を継続するために必要な消耗品(除菌剤、サーキュレーター、消毒液等)や備品(加湿空気清浄機、投影対応ホワイトボード等)の購入 ・補助事業に要した経費 1,579,523円 ・補助金確定額 789,000円	【教育施設課】 各学校に予算を配当し、感染症対策・学習保障に必要な経費を各学校の実情に応じ執行した。これにより感染症対策を講じながらの学校運営と子供たちの学びの保障を経費的な面から支えることができた。 【市立高校】 コロナ禍の学校生活における学習保障に必要な経費として、校長の判断のもと迅速に執行した。これにより、感染症対策を講じながらの学校運営と生徒の学びの保障に寄与した。

実施計画 No.	事業名	所管課	計画申請時の事業概要 (①目的・効果、②交付金を充当する経費内容、③積算根拠(対象数、単価等)、④事業の対象(交付対象者、対象施設等))	R2→R3繰越の有無	事業始期	事業終期	充当対象事業費 決算額(円)	成果 (定量評価)	効果検証
90	教育支援体制整備事業費交付金	幼児教育・保育課	(幼稚園の感染症対策支援) ①市立幼稚園における感染防止対策 ②感染拡大防止対策物品の購入 ③300千円×2園=600千円 400千円×21園=8,400千円 500千円×37園=18,500千円 ④市立幼稚園60園	R2→R3繰越分	R3. 4. 1	R3. 9. 27	15,245,728	・市立幼稚園 消毒液753本等を購入	施設内の消毒や衛生用品の整備により、幼稚園における感染拡大防止に寄与した。
91	ブラジルホストタウン交流事業	スポーツ振興課	①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のブラジル選手団事前合宿受入れにおける感染防止対策 ②感染拡大防止対策に要する経費 ③ブラジル選手団事前合宿宿泊・食事・輸送623,909千円、合宿会場使用料48,631千円、トレーニング機器等リース46,753千円、その他43,207千円(詳細別紙) ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3. 1. 29	R4. 3. 31	79,487,654	・選手団宿泊フロアの空席確保(フロア借り・スポンサー基金分除く) 741室 ・市民との接触防止のためのアテンドスタッフの手配(特別交付税分除く) 395名 ・選手団検体採取業務 オリ選手団受入期間 23日間 バラ選手団受入期間 20日間 等 ※トレーニング機器等リースへの充当は行わなかった。	来日時にコロナ陽性と診断された選手団スタッフ及びその濃厚接触者であるスタッフの2名以外感染は確認されず、選手団から市民又は市民から選手団の感染を防ぐことができた。
92	防災施設・資機材維持管理事業	危機管理課	①避難所等の感染防止対策 ②感染防止対策物品の購入 ③アルコール消毒1,620円×238か所×1.1=424千円 除菌剤等1,550円×238か所×1.1=406千円 ふき取りに要する消耗品(ゴム手袋、ゴミ袋等)2,500円×60か所=150千円 ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3. 4. 1	R3. 11. 22	484,779	アルコール消毒等239セット(659,879円)、ニトリルグローブ240箱(224,400円)、フェイスシールド600枚(82,500円)の購入	指定避難所(184箇所)及び予備避難所(54箇所)へ感染症対策資機材を配備した。アルコール消毒やフェイスシールド等の資機材によって、基本的な感染症対策を実施し避難所運営を行うことが可能となった。
103	個別指導教室等ネットワーク環境整備事業	教育施設課	①小中学校におけるGIGAスクール構想の推進 ②学習者用タブレット端末活用に向けた環境整備に要する経費 ③・個別指導教室ネットワーク環境整備(59校) 22,045千円 ・特別指導教室ネットワーク環境整備(146校) 48,136千円 ④地方公共団体	R2→R3繰越分	R3. 3. 1	R3. 9. 30	69,256,110	・個別指導教室への無線アクセスポイント整備を実施 小学校 43校 82教室 中学校 25校 40教室 合計 68校 122教室 ・全校の特別教室のネットワーク環境を調査し、LAN配線未整備の特別教室にネットワーク環境整備を実施 小学校 17校 45教室 中学校 10校 27教室 合計 27校 72教室	個別指導教室や特別教室にネットワーク環境を整備したことにより、新型コロナウイルス感染症対応のための分散授業等を実施することができた。